【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公開番号】特開2006-50908(P2006-50908A)
【公開日】平成18年2月23日(2006.2.23)
【年通号数】公開・登録公報2006-008
【出願番号】特願2004-233174(P2004-233174)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/711　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/28　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/47　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　16/18　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/15　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/19　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/21　(2006.01)
Ｃ１２Ｐ　21/02　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/02　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/15　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/50　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ａ６１Ｋ　31/711
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｄ
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｐ　25/28
Ｃ０７Ｋ　14/47
Ｃ０７Ｋ　16/18
Ｃ１２Ｎ　1/15
Ｃ１２Ｎ　1/19
Ｃ１２Ｎ　1/21
Ｃ１２Ｐ　21/02　Ｃ
Ｃ１２Ｑ　1/02
Ｇ０１Ｎ　33/15　Ｚ
Ｇ０１Ｎ　33/50　Ｚ
Ｃ１２Ｎ　5/00　Ａ
Ａ６１Ｋ　37/02

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月22日(2007.3.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記のいずれかのポリヌクレオチドまたはその相補鎖：
（１）配列表の配列番号１または３に記載の塩基配列からなるポリヌクレオチド；または
（２）配列表の配列番号２または４に記載のアミノ酸配列からなるポリペプチドをコードするポリヌクレオチド。
【請求項２】
下記の群より選ばれるポリヌクレオチドまたはその相補鎖：
（１）請求項１の（１）または（２）に記載のポリヌクレオチドと少なくとも９０％の塩基配列上の相同性を有し、かつアストログリア細胞の移動、アストログリア細胞の突起の伸長、および／またはアストログリア細胞の炎症性因子の産生と関連する機能を有するポリペプチドをコードするポリヌクレオチド；
（２）請求項１の（１）または（２）に記載のポリヌクレオチドとストリンジェントな条件下でハイブリダイゼーションし、かつアストログリア細胞の移動、アストログリア細胞の突起の伸長、および／またはアストログリア細胞の炎症性因子の産生と関連する機能を有するポリペプチドをコードするポリヌクレオチド；および
（３）請求項１の（１）または（２）に記載のポリヌクレオチドの塩基配列において、１または数個のヌクレオチドが欠失、置換、または付加され、かつアストログリア細胞の移動、アストログリア細胞の突起の伸長、および／またはアストログリア細胞の炎症性因子の産生と関連する機能を有するポリペプチドをコードするポリヌクレオチド。
【請求項３】
配列表の配列番号２または４に記載のアミノ酸配列からなるポリペプチド。
【請求項４】
下記のいずれかのポリペプチド：
（１）請求項３に記載のポリペプチドと少なくとも９０％のアミノ酸配列上の相同性を有し、かつアストログリア細胞の移動、アストログリア細胞の突起の伸長、および／またはアストログリア細胞の炎症性因子の産生と関連する機能を有するポリペプチド；または
（２）請求項３に記載のポリペプチドのアミノ酸配列において、１または数個のアミノ酸が欠失、置換、または付加され、かつアストログリア細胞の移動、アストログリア細胞の突起の伸長、および／またはアストログリア細胞の炎症性因子の産生と関連する機能を有するポリペプチド。
【請求項５】
請求項１または２に記載のポリヌクレオチドを含む組換えベクター。
【請求項６】
プラスミド　ｐＢＳ　ＳＫ（－）－ｒＭｉｂ（ＦＥＲＭ　ＢＰ－０８６５４号）。
【請求項７】
請求項５に記載の組換えベクターまたは請求項６に記載のプラスミドを用いて形質転換させた形質転換体。
【請求項８】
請求項７に記載の形質転換体を培養する工程を含む、ポリペプチドの製造方法。
【請求項９】
請求項３または４に記載のポリペプチドを免疫学的に認識する抗体。
【請求項１０】
以下の工程を含有する、アストログリア細胞の移動、アストログリア細胞の突起の伸長、および／またはアストログリア細胞の炎症性因子の産生を阻害する化合物および／または抑制する化合物の同定方法：
（１）細胞にβアミロイドおよび候補化合物を添加する工程；および
（２）該細胞においてＭｉｂの発現が阻害および／または抑制された場合に、該候補化合物をアストログリア細胞の移動、アストログリア細胞の突起の伸長、および／またはアストログリア細胞の炎症性因子の産生を阻害する化合物および／または抑制する化合物とし

て同定する工程。
【請求項１１】
請求項１もしくは２に記載のポリヌクレオチド、請求項３もしくは４に記載のポリペプチド、請求項５に記載の組換えベクター、請求項６に記載のプラスミド、請求項７に記載の形質転換体、または請求項９に記載の抗体のうち少なくとも１つを用いることを特徴とする、請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
脳組織由来の被検組織試料が、アストログリア細胞の移動、アストログリア細胞の突起の伸長、および／またはアストログリア細胞の炎症性因子の産生と関連する疾患に罹患した患者由来の組織試料であるか否かを判定する方法であって、該被検組織試料における請求項１もしくは２に記載のポリヌクレオチドまたは請求項３もしくは４に記載のポリペプチドの発現量を測定することを特徴とする、判定方法。
【請求項１３】
脳組織由来の被検組織試料が、アルツハイマー病患者由来の組織試料であるか否かを判定する方法であって、該被検組織試料における請求項１もしくは２に記載のポリヌクレオチドまたは請求項３もしくは４に記載のポリペプチドの発現量を測定することを特徴とする、判定方法。
【請求項１４】
請求項１もしくは２に記載のポリヌクレオチド、請求項３もしくは４に記載のポリペプチド、請求項５に記載の組換えベクター、請求項６に記載のプラスミド、請求項７に記載の形質転換体または請求項９に記載の抗体のうち少なくとも１つを用いることを特徴とする、アストログリア細胞の移動、アストログリア細胞の突起の伸長、および／またはアストログリア細胞の炎症性因子の産生と関連する疾患の診断用キット。
【請求項１５】
請求項１もしくは２に記載のポリヌクレオチド、請求項３もしくは４に記載のポリペプチド、請求項５に記載の組換えベクター、請求項６に記載のプラスミド、請求項７に記載の形質転換体または請求項９に記載の抗体のうち少なくとも１つを用いることを特徴とする、アルツハイマー病の診断用キット。
【請求項１６】
請求項１もしくは２に記載のポリヌクレオチド、請求項３もしくは４に記載のポリペプチド、請求項５に記載の組換えベクター、請求項６に記載のプラスミド、請求項７に記載の形質転換体または請求項９に記載の抗体のうち少なくとも１つを含む、医薬組成物。
【請求項１７】
請求項１もしくは２に記載のポリヌクレオチド、請求項３もしくは４に記載のポリペプチド、請求項５に記載の組換えベクター、請求項６に記載のプラスミド、請求項７に記載の形質転換体または請求項９に記載の抗体のうち少なくとも１つを含む、アストログリア細胞の移動、アストログリア細胞の突起の伸長、および／またはアストログリア細胞の炎症性因子の産生と関連する疾患の改善および／または治療剤。
【請求項１８】
請求項１もしくは２に記載のポリヌクレオチド、請求項３もしくは４に記載のポリペプチド、請求項５に記載の組換えベクター、請求項６に記載のプラスミド、請求項７に記載の形質転換体または請求項９に記載の抗体のうち少なくとも１つを含む、アルツハイマー病の改善および／または治療剤。